



「尚徳」 12月号 第506号 平成26年12月19日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明教授（地域学部）



何のために教育が必要なのか

鳥取大学附属小学校
校長 土井 康作

“10歳のとき、美と観光の地だったスワートは突然、テロリズムの地になってしまいました。400以上の学校が破壊されました。女の子たちは学校に行くのを阻まれました。女性たちはむちで打たれました。無実の人々が殺されました。そして私たちのすてきな夢は、悪夢へと変わったのです。教育は「権利」から「犯罪」になりました。”

この文は、2014年のノーベル平和賞を受賞されたパキスタン人のマララ・ユスフザイさん（17歳）のスピーチです。マララさんは、2012年10月9日に頭部と首に2発の銃弾を受け、意識不明の重体になりましたが、奇跡的に回復しました。今なおマララさんは、身に危険が迫っている状況にあります。

私たちは、全ての人が学ぶこと・教育を受けることは基本的な権利だと思っています。教育によって人が育てられることは、平和や民主的な国づくりの根幹です。文字が読める、自分の意思が伝えられる、自由を語れることが社会生活を豊かにし、社会を発展させます。

強い精神力をもって世界に向けて“教育の機会を奪われた子どもたちを目にしなくなるよう、行動を起こすときです。”と訴えているマララさんの姿に、私は頭が下がります。

教育に携わる私たちは、改めて、“何のために教育が必要なのか？”という原点に立ち返り、そして“どのような教育ができたのか？”この一年間を振り返らなければならぬと強く感じました。



子どもたちの手による挨拶運動

「おはようございます！」

毎朝、元気のよい挨拶が児童玄関に響いています。児童会の運営委員会のメンバーが、年間を通じて児童玄関に立って挨拶運動を展開しているのです。

寒風吹きすさぶ冬になっても、登校してくる友達に挨拶を続けます。その声に応えるかのように「おはようございます。」と挨拶を返している子どもたちの姿もよく見かけます。挨拶を交わすという社会生活の基本が身につくよう、子どもたち自らががんばっています。

もうすぐ新年を迎えます。「明けましておめでとうございます」と、新年の挨拶からしっかり取り組んでいきたいものです。

家庭・地域・学校で挨拶がこだまするよう大人もがんばっていきましょう。



【毎朝行っている挨拶運動】

1月の主な行事予定

- 1日（木）～6日（火）冬季休業日
- 7日（水）全校集会1校時
発育測定（高学年）
路線別児童会5校時
集団下校
- 8日（木）発育測定日（中学年）
国語診断テスト2校時
懇話会執行部会・常任委員会
- 9日（金）発育測定日（低学年）
算数診断テスト2校時
- 12日（月）祝日 成人の日
- 13日（火）集金引落日
- 14日（水）弁当の日
- 20日（火）委員会活動6校時
- 21日（水）附属幼稚園との交流会（1年）
- 27日（火）代表委員会6校時
社会科見学（6年）
新入児保護者会・物品販売 13:00～
- 29日（木）租税教室（6年）
- 30日（金）附属幼稚園研究会

瀧田賀久也先生 県教育委員会表彰受賞！

本校学校医の瀧田賀久也先生が、平成26年度県教育委員会表彰を受賞されました。

瀧田先生には、医師会の活動はもちろん、本校の学校医として本年度で47年間勤務していただき、子どもたちの健康の保持増進に向けて多大なご指導・ご支援を頂いてきました。

先日、学校保健委員会にて、「感染症と法律」と題してご講義頂くとともにインフルエンザの対応についてアドバイスを頂きました。今回の先生の受賞は、教職員



【学校保健委員会での講義】

員はもちろん保護者の皆様にも自分のことのように喜んでいただけたことと存じます。

瀧田先生、本当におめでとうございます。

不審者対応避難訓練実施

12月9日（火）に学校内に不審者が侵入したという想定のもと、避難訓練を実施しました。

子どもたちは、教職員の指示を受け、各教室にいったん避難し、放送等の指示により全体の避難場所（今回は体育館）に再度避難しました。訓練の様子を見ていると、みんなが黙って、真剣に行動していました。

実際には、いつ不審者が来るかわかりません。その時に先生がいるとは限りません。自分で判断し、行動しなければならぬことも想定されます。

どんなことに気を付けたらよいか、スクール・サポーターの岸本さんに教えて頂いた後、安全な対応ができるよう、各学級で振り返りました。



【岸本さんのお話】

各種表彰 おめでとうございます！

鳥取県児童生徒読書大会 特選（硬筆の部）

1年 瀧 音羽	2年 木村 友香
〃 安木 栞里	3年 前田 向日葵
〃 田村 美希	〃 戸田 結子
〃 高田 真緒	〃 松本 紗可
〃 本庄 晃都	〃 吉田 莉菜
〃 渡邊 結夢	〃 中田 美紅
2年 岸本 望空代	4年 松田 恵依
〃 西本 光	〃 槇塚 萌華
〃 宮川 結衣	〃 稲場 芹奈
〃 塩 結衣子	〃 藤島 賢悟

特選（毛筆の部）

3年 中島 聡汰
〃 戸田 結子
〃 松本 紗可
〃 吉田 莉菜
4年 江谷 美咲
〃 田村 諒太
5年 藤井 沙耶花
〃 矢野 慧
6年 池田 碧衣
〃 神崎 優乃

ジュニア県展奨励賞（毛筆）

1年 中村 香英
3年 前田 向日葵

青少年読書感想文

全国コンクール鳥取県審査優良賞

5年 植田 望未
2年 山本 美佳
2年 江谷 俊紀

～教職員シリーズ～

「自然の神秘に魅せられて」

附属小学校 礒江 孝

天の川を初めて見た時のことは今でもはっきりと覚えています。星が無数にあり、うっすらと白くなっている姿に心を奪われました。自然は無条件に私たちに感動をもたらしてくれます。冬は星がきれいに見えるからと、12月の雪が降る前に大山の中腹に行き、寝袋にくるまって星を眺めて過ごすことにはまっていた時期もありました。

12月3日午後、鹿児島県の種子島宇宙センターからロケットが発射されました。このロケットには小惑星探査機「はやぶさ2」が載せられていました。はやぶさ2は「1999JU3」という名の小惑星に行き、星の形や観測などを行い、岩石を採取して地球に持ち帰るという任務を負っています。この小惑星に到着するのは約3年半後、地球に戻ってくるのは約6年後です。果たしてどんな物質を持ち帰るのかとても楽しみです。

一方で、この探査機には最新の技術を注ぎ込んでいるのですが、人類はまだ地球の近くを探るまでなのですね。この小惑星は太陽の周りを回っているのですが、その軌道は地球や火星の公転軌道の近くです。人類は夜空に輝く無数の星どれか1つにも、まだたどり着いていないのです。そう考えると、科学者の努力とともに宇宙の雄大さ、神秘さを感じます。

はやぶさ2のニュースを聞き、この冬休み、久しぶりに野原で寝袋にくるまり、遠い宇宙の神秘に浸ってみようかと思います。

